

2021 年度（総合型選抜）AO 選抜入学試験 文学部 日本文学研究学域
「人文学プロポーズ方式」

【選考講評】

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
日本文学研究学域	1	0	0

2. 第一次選考<ES(エントリーシート)と課題レポート・志望理由書等>

(1) 評価ポイント

以下の3点を評価のポイントとしました。

- ①課題論文のテーマ・着眼点が独創的であり、日本の文学・文化について、立命館大学で専門的に学びたいという意欲が充溢しているか。
- ②受験生自身のことばで学問に対する熱意を表現できているか。また、論理的な叙述ができているか。
- ③大学で教育を受け、研究を行うのに必要な基礎知識・文章執筆能力を備えていると確認できる内容であるか。

(2) 解答状況

上記「(1) 評価ポイント」に記した3点について、

- ①独創的なテーマ・着眼点を提示することは研究にとっては必要なことです。日本文学・文化について、具体的に、どこが、研究するに十分な面白さやゆたかさなのか、さらに、それを自分が研究しなければならない理由はなにか、などについて、丁寧に説明することが肝要です。本学域での学びとの緊密な関係がみられないものは、高い評価を得られませんでした。
- ②添削され、きれいにまとめられた、いわば可もなく不可もない叙述よりも、自身のことばで、学ぶことについて記すことが評価されます。とはいえ、具体的かつ論理的に記していないものは、高い評価を得ることができませんでした。
- ③大学では、学び考えた上で他者に伝える力が必要とされます。どのような現状のもとに本学域でどういったことを学ぼうとしているのか、研究を行うのに必要な具体的な基礎知識がうかがえないもの、文章の論理性が不十分で説得力を有しないものは、高い評価を得られませんでした。

以上